



ながしま

議会だより

6月定例会

(H22. 6.4 ~ 6.16)

| | |
|-------------------|-------|
| 条例改正等..... | 2~3 |
| 議会議員の顔ぶれ..... | 4 |
| 新しい議会構成のお知らせ..... | 5 |
| 補正予算などの議案結果..... | 6 |
| 9人の議員から町長等に質問... | 7~14 |
| 常任委員会審査報告..... | 15~16 |
| 平成22年度第3回臨時会 ... | 17 |
| 議会で現地調査..... | 17 |

おにゆり
山野に咲く鬼百合
暑い夏のはじまりです...

一般会計 6月補正予算

19億1,690万4千円を追加

一般会計
総額

84億3,388万円

■ (歳出)一般会計補正予算額

| | 補正額 | 計 | 主な内容 |
|-------|-------------|-------------|-------------------|
| 議会費 | 3,001千円 | 104,445千円 | 普通旅費、費用弁償、事務的負担金等 |
| 総務費 | 302,422千円 | 1,084,718千円 | 工事請負費、基金積立金等 |
| 民生費 | 9,098千円 | 2,126,468千円 | 事務事業委託料、事務的補助金等 |
| 衛生費 | 54,836千円 | 506,802千円 | 事務的補助金、建設的補助金等 |
| 農林水産費 | 381,412千円 | 767,627千円 | 測量設計委託料、工事請負費等 |
| 商工費 | 24,906千円 | 82,793千円 | 事務的補助金・保守点検委託料等 |
| 土木費 | 1,055,076千円 | 1,268,392千円 | 委託料、工事請負費等 |
| 消防費 | 38,690千円 | 311,273千円 | 建設管理委託料、工事請負費等 |
| 教育費 | 47,463千円 | 651,577千円 | 調査委託料、工事請負費等 |
| 計 | 1,916,904千円 | 8,433,889千円 | |

平成22年第2回定例会は6月4日から6月16日までの13日間の会期で開かれ、初日に町長の施政方針、長島町観光公社の経営状況の報告、補正予算等の議案17件が提案され、町長の提案理由説明、主管課長の補足説明があった。報告12件原案可決。

本会議2日目は、議案に対する総括質疑を行い議案17件を

各常任委員会へ付託し、6月7日から6月9日まで3日間9人が一般質問を行った。

委員会審査、最終本会議で委員会委員長報告の後、追加議案1件諮問、発委、同意、それぞれ各1件を含む全議案を可決した。

主な内容については次のとおり。

条例

◎長島町課設置条例の一部を改正する条例について

「事業推進課」を「景観推進課」に課名変更し、長生園に関する業務を町民福祉課所管の分掌事務とするため所要の改正をした。

◎長島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

◎長島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、所要の改正

をした。

◎長島町教職員住宅条例の一部を改正する条例について

本浦小学校教頭住宅1棟を新築したため、条例の一部を改正した。

◎長島町議会委員会条例の一部を改正する条例について

長島町課設置条例の一部改正に伴い、常任委員会の所管を変更するため所要の改正をした。

報告

◎平成21年度長島町繰越明許費繰越計算書の報告について

地方自治法施行令第

特別会計 6月補正予算

2億1,960万6千円を追加

特別会計
総額

44億5,434万円

■ (歳出)特別会計補正予算額

| | 補正額 | 計 | 主な内容 |
|----------|-----------|-------------|-------------|
| 国民健康保険 | 14,254千円 | 2,128,959千円 | 筆耕賃金、委託料等 |
| 介護保険 | 66千円 | 1,023,088千円 | 負担金等 |
| 簡易水道 | 123,511千円 | 336,399千円 | 原材料費、工事請負費等 |
| 農業集落排水 | 1,818千円 | 50,076千円 | 普通旅費、修繕費等 |
| 漁業集落環境整備 | 79,957千円 | 128,843千円 | 工事請負費等 |
| 計 | 219,606千円 | 4,454,347千円 | |

146条第2項の規定により、繰越明許費に係る歳出予算の繰越について報告がなされた。

◎平成22年度財団法人長島観光公社の経営状況について

地方自治法の定めるところにより、町が出資している財団法人長島観光公社の平成22年度事業計画、予算等の報告がなされた。

諮問

◎人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員の一人が平成22年9月30日で任期満了となるため、左記の者を適任者として推薦することに決定した。

長島町鷹巣

二七九三番地五
下平隆康氏

ぜひ傍聴においでください。
次回の定例会は、

9月中旬

開会予定です。



長島町議会議員の顔ぶれ

平成 22 年 4 月 18 日執行、町議会議員選挙の結果選出された 16 名の議員を紹介します。



古
田
一
博
(指江)

皆様に投じていただいた一票を大切に、感謝の気持ちをお忘れず、町民の負託に応え精一杯頑張ります。



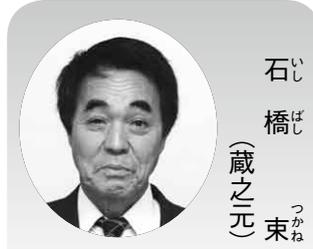
福
永
伸
親
(平尾)

「行政に新しい風と活力を」をモットーに町民の皆様の声を行政に届けます。長島町発展に尽くします。



林
義
明
(田尻)

当選は皆様方のご支援の賜と深く感謝致します。長年の行政経験を活かし、町の活性化に全力で頑張ります。



石
橋
蔵
之
介
(蔵之介)

基本理念として常に初心を忘れず、地域の声を町政に届け、住みやすい豊かな長島町づくりに誠心誠意努力いたします。



川
上
勇
(城川内)

「誠実・対話・実行」を信条とします。皆さんの声を町政に届け、実現を!!



浜
田
実
男
(幣串)

活力ある町づくりに一生懸命になって頑張っています。よろしく願い致します。



児
島
薩
男
(汐見)

町民の皆様の代弁者として町政のマイナス分は指摘し、プラス分を提唱しつつ、微力ではありますが最善を尽くします。



崎
口
平
国
(平尾)

三期目の議席をいただきました。初心を忘れず議員、議会の使命を十分認識し町民の負託に応えるべく努力を致します。



下
塩
見
浩
(小浜)

町民の代弁者として皆様の声を行政に届け、議員として初心を忘れず長島町発展のため頑張ります。



原
口
秀
昭
(小坂)

町民の皆様のご支援を賜り衷心より感謝致します。四期目、初心を忘れず皆様と一体となり町政発展に向け頑張ります。



田
中
川
床
中
隆
(川床中)

町民の代弁者である事を強調し、良し悪しを分別して弱い立場におかれている住民サイドで物申し、心算で議会活動に当たりたい。



磯
永
秀
生
(白瀬)

五期目にあたり初心を忘れず、誠心誠意皆様方の御期待に沿うべく勇断を以って積極的に町政発展のため努力します。



植
元
敏
光
(葛輪)

町議会議員として五期十九年間の貴重な体験を生かし、創造と活力ある長島の発展を目指し初心を忘れず誠心誠意努力します。



池
田
幣
串
廣
(幣串)

初心貫徹町民の目線で政治を行う。高齢者の福祉対策、産業振興、教育の環境整備、少子化対策に頑張ります。



小
川
武
内
男
(川内)

是々々々の姿勢で議会に臨み、広い視野で均衡のある長島の発展に全力で取り組みます。



濱
上
實
則
(本浦)

町民の心温まるご支援を賜り心から感謝申し上げます。豊かな活力に満ちた温かい町づくりのため全力投球致します。

議長に濱上實則氏 副議長に小川武男氏



副議長
小川
武男



議長
濱上
實則

新しい議会構成のお知らせ

◎議長

濱上 實則

◎議会運営委員会委員

委員長 小川 武男

◎副議長

小川 武男

副委員長 濱上 實則

委員 磯永 秀生

委員 磯永 秀生

◎総務民生常任委員会

委員長 磯永 秀生

◎農業委員会委員

田中 正隆

副委員長 下塩見 浩

◎北薩広域行政事務組合議会議員

林 義明

古田 国昭

◎阿久根地区消防組合議会議員

古田 一昭

◎建設経済文教常任委員会

委員長 兒島 薩男

◎監査委員

崎口 昭

副委員長 濱上 實則

◎議会だより編集委員会委員

委員長 植原 元敏

委員 石橋 義明

委員 川口 秀昭

植原 元敏

平成22年第2回長島町議会定例会でこんなことを可決しました

| 議案番号 | 件名 | 議決年月日 | 議決の結果 |
|----------------|------------------------------------|------------|-----------|
| 報告第1号 | 平成21年度長島町繰越明許費繰越計算書の報告について | 平成22年6月7日 | 報告 |
| 報告第2号 | 平成22年度財団法人長島町観光公社の経営状況について | 平成22年6月7日 | 報告 |
| 議案第52号 | 長島町課設置条例の一部を改正する条例について | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第53号 | 長島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第54号 | 長島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第55号 | 長島町教職員住宅条例の一部を改正する条例について | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第56号 | 平尾北部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第57号 | 新たに生じた土地の確認について（蔵之元字潟平） | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第58号 | 新たに生じた土地の確認について（平尾字藤倒） | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第59号 | 新たに生じた土地の確認について（城川内字濱田） | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第60号 | 字の区域変更について（蔵之元字潟平） | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第61号 | 字の区域変更について（平尾字藤倒・赤土） | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第62号 | 字の区域変更について（城川内字濱田） | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第63号 | 平成22年度長島町一般会計補正予算 | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第64号 | 平成22年度長島町国民健康保険特別会計補正予算 | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第65号 | 平成22年度長島町介護保険特別会計補正予算 | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第66号 | 平成22年度長島町簡易水道特別会計補正予算 | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第67号 | 平成22年度長島町農業集落排水特別会計補正予算 | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 議案第68号 | 平成22年度長島町漁業集落環境整備特別会計補正予算 | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 追 加 議 案 | | | |
| 議案第69号 | 平成22年度長島町一般会計補正予算 | 平成22年6月16日 | 原案可決 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 平成22年6月16日 | 推薦することに決定 |
| 発委第2号 | 長島町議会委員会条例の一部を改正する条例について | 平成22年6月16日 | 原案可決 |

いっばん質問

9人の議員が町政全般にわたり町長、教育長に質問しました。
内容については次のとおりです。

どう考える？福祉行政長島高校跡を医療・介護・教育の中核にする。



池田 廣議員

質問 町長は福祉の充実したまちづくりの継続を、基本姿勢とした運営を唱えているが、今の長島の介護の状況と長島高校での教育福祉の里づくりについての構想は。

答弁 町長 福祉事務所を核としながら住民一人ひとりが幸せ感を持てる、きめこまやかな対応を図ってまいり5月末の人口が11,699名で、65才以上の人口が3,689名、高齢化率31・5%であり、桃源郷、あかね園で36名の待機者があり訪問介護を受給されている人が313人でヘルパー32名で対応して

いる。

また、高校跡地提言の教育・医療介護の3点セットで利用すると理想的ではあるが、これを一つ一つ分析すると、措置の問題、住民の措置介護保険料との絡みがあるので現時点では難しいと考えている。

獅子島架橋をどうするのか

質問 町長は自分の重点施策から、獅子島架橋を今後どのように進めようと考えているのか。平成6年に「伊唐の次は獅子島へ」の合言葉で獅子島架橋建設期成会を設立し、町単独で調査費も付け中山間地域総合整備計画も完了し、その後10年間で国県ともに財政等厳しくなり現在に至って

いるが、今後どのような進め方を考えているのか。

答弁 町長 コンクリートから人への時代で投資効果のうすい施策については、なお厳しく、やはり高齢化が進んで行く中で農地開発もかなり難しく思われる。年賀状作戦とか看板設置等実施しながら長い戦いであると思う。

学校の統廃合は？

質問 学校の統廃合については、平成21年2月19日付で答申がなされた。中学校を本島1校、獅子島1校小学校については、本島四校、獅子島一校。幼稚園については、本島1園、獅子島1園の答申がされたが今後の取組について問う。

答弁 町長 今後は町長部局と教育委員会が

局が一体となって統廃合推進協議会等を設置して協議を進めていきたい。

答弁 教育長 統廃合に関しては必要な事項を調査検討するとともに統廃合に関する事務を円滑に処理するため、地区別の協議会を設置し、平成22年度獅子島地区で学校統廃合

推進協議会を立ち上げ、検討する予定。



集落合併の推進について



川上 勇議員

質問 集落の活性化は

町は、各集落の自主的再編を尊重する方針で自治会合併奨励補助金交付要綱の制定や担当職員の配置等を行い推進している。

町の活性化に大きく反映される。これまでも

旧両町において、集落が自主的に合併する等現在57集落である。65

旧両町において、集落の組織や運営の合理化等のため、時代にマッチした集落合併の歴史がある。本町には現在、大小57の集落があり、小規模の集落においては、少子高齢化や人口の減少等が予想される。今後、適正規模の元気な集落づくりが必要と思うが、現在の集落合併推進について伺う。

両町合併当時59の集落であったが、平成19年4月に東西田尻集落が自主的に合併する等現在57集落である。65歳以上の高齢者が50%を超える集落が三集落あるので集落再編の必要性を充分認識している。

今年度から創設しようとしている自治公民館チャレンジ提案事業や地域担当職員制度を活用して集落合併の推進を図りたい。

東消防分遣所の整備促進について

質問 東及び長島分遣所は、町合併後、出動区域の見直しや所長

を一人とした指揮命令の統一等再編が行われた。その結果、東分遣所は職員数も発足当時の八人から倍増し、町民からの情報連絡や指揮命令の発信等本町消防行政の中枢的役割を果たしている。

しかし、建物は発足当時のままで非常に老朽化し、事務所、当直室等狭いので、早急に施設を改善することについて町長に伺う。

は、昭和49年の建築で老朽化が進み、組織再編により職員数も増え手狭になっている。施設整備の必要性も強く感じている。国や県等で進めている消防広域化の推移をみながら対応したい考えであった。しかし、これが進展しない状況であるの

町長 自主的再編を尊重

答弁 町長 積極的に集落再編を推進するの

町長 公共施設あり方研究会で研究

で、今後、消防施設等の「公共施設あり方研究会」等で研究し、(要望) 質問の趣旨に答えられるよう努力したい。



東消防分遣所

町内の施設整備について



議員 永 秀 磯

質問 結婚式ができるような施設を整備する考えはないか。

答弁 町長 町内ではサンセット長島など民間施設があるが、招待客数が200人から300人程度が平均であり、これらの招待客数を収容できる施設が町内にはない。しかしながら、新生活運動の観点から考えた場合、はたして現在の平均的な招待客が適正なのかどうか。考えていく必要はあると思っています。

答弁 町長 車の既存駐車場への入り込み状況を見ながら、敷地内の拡幅や農道火ノ浦中央線の墓地付近の路肩幅員拡幅など含め研究したい。

質問 口蹄疫対策について町の対応は。

答弁 町長 町では、対策本部を設置し、消石灰散布や消毒マットの設置、家畜飼育全農家に対して消石灰の無償配布を行い、県と連携を取りながら万全の対策をとってきている。町では現況対策を継続し農家代表やJAと協議しながら対応していく。

質問 5月22～23日の大雨時の災害状況とその対策は。

答弁 町長 総雨量260ミリであり、災害復旧事業の対象にならない小さな被害も含め68ヶ所、被害総額5千2百万円を推計している。崩土状況などは町の責任において対処、対応し、災害申請部分を除いて終了し、通行に支障はないと認識している。



だんだん市場

医療体制の確立について



議員 中 正 田

川床診療所の医師

確保を急げ!!

質問 3月より川床診療所は医師不在で休診中であるが、高齢化が進む中での医療体制の確立は急務であると考えられるが、町の現在までの対策を問う。

町長 条件面等現在「交渉中」

答弁 町長 川床診療所の医師の確保については、国や県、国保連合会、医師会等へお願いしているが、現在のところ常勤医師確保までは至っていない。

しかし、今般県内で地域医療に関心のある医師と連絡がとれ、勤

務条件等について、現在交渉中である。今後についても、常勤非常勤にしても1日も早く再開をしたい。



休診中の川床診療所

安心な医療の確保を



崎口 国昭議員

域医療に関心のある医師を確保したいと考えている。川床診療所の早期診療開始に向けて、現在県内の医師と交渉中であり、早期に再開できるよう努力する。

教育・文化の振興について

小・中学校の適正配置への今後の取り組み

質問 本町の子どもたち一人ひとりに、より一層豊かな教育を、充実した教育環境の中で受けさせることを重視し、新しい時代にふさわしい学校づくりを目指すし、中学校は長島本島1校、獅子島1校、小学校についても、長島本島4校、獅子島1校に編成するとの答申が出された。望ましい



鷹巣診療所

教育環境と指導体制を確立するため、答申に基づき、中学校長島本島1校の適正配置を優先し推進すべきと考えるが、今後の取り組みについて伺う。

町長 答申を尊重し 適正配置を推進

答弁 町長 小・中学校の適正配置は、地域住民の意見、また、提案のあったことを、意見等を参考にしながら

合併5周年を機に長島町郷土史編さんの考え

質問 明治22年長島郷は、東西の2村に分離され以来百十六年の歴史を閉じ、新長島町が誕生、5周年を迎えた。これまでに発展してきた郷土長島町の歴史的事実を記録、保存し次世代へ伝え、郷土愛を培い長島町の発展に資するため、郷土史編さんの考えは。

答弁 町長 郷土史は長島町郷土史が昭和49年に、東町郷土史が平成4年に発刊されている。郷土史編さんは大事な事業である。今後良い時機を見て取りかかる必要性を感じている。

口蹄疫対策について

質問 宮崎県で発生した口蹄疫は、感染が拡大、その影響は九州全域、さらには全国へと広がり始めている。本町におけるウイルス侵入防止対策及び畜産農家への影響と支援策について問う。

町長 子牛生産農家へ補助金

答弁 町長 ウイルス侵入防止対策として、家畜飼育農家へ消石灰の配布、町の玄関口3カ所に（黒之瀬戸大橋・蔵之元港・諸浦港）消石灰の散布を行っている。支援策として、子牛せり市中止による飼育経費の補助金等（1頭当り12,600円）補正予算に計上しているところである。

町長 県や関係機関等へ医師確保を要請

答弁 町長 鷹巣、川床及び獅子島診療所も含めた医療体制充実のため、県や国、関係機関等へ医師確保への協力要請をしている。地

「ぐるっと一周フラワーロード」事業の継続性及び将来の維持管理について



福永 伸親議員

質問 現在、町内の

国道並びに県道沿いに「ぐるっと一周フラワーロード」事業で「石垣と花のまち」をうたい文句に花壇づくり及び花植えを進めているが、今後年間を通じての花植え及び維持管理となると費用もかかることからかなり厳しく町民の皆様の評価はそれほどでも無いように思われるが、この事業の継続性及び将来の維持管理について伺う。

答弁 町長 事業が長

期的に継続できるようにその時点で合わせて交付金やふるさと納税、雇用対策事業等を組み合わせながら推進

風車を生かした観光地づくり

質問 まちづくりには

色んな発想あるいは手法もあるが、長島町には現在、西日本一の風力発電が稼働している。風車に沿った尾根沿いの山林を可能な範囲で買収し、そこに遊歩道を整備し行人岳まで繋ぎ、その途中に大型バス等も駐車可能な駐車場を整備する。そして、途中の眺望のいい箇所には花の公園をしっかりとしたものをつくり、最後の行人岳ツルの北帰行を見学する。このルートができれば将来に向けた長島の観光スポットとなる

していく。また、維持管理については景観認定団体・ボランティア等をお願いをする予定である。

と思うが町長の考えは。

答弁 町長 今、全国には面的な公園・花公園もかなりあるが長島には難しいのではと考

え、長島一周をラインとして特徴づける。そういう花街道をつくらうという発想である。



毎床牧場付近の風車

副町長二人制について

副町長二人制について

質問 本町の合併は分庁方式を採用し、両町にその機能を持たせたことから副町長二人制を「当分の間」と公約され4年となる。両町間の融和を図る意味からも「当分の間」は致し方ないと思いい2年位で見直しがあると思っていたが、行革の観点から今後どのような考えか伺う。

答弁 町長 二人の副町長を活用することにおいていかに波及効果がたか、またそのことがまちの活性化に繋がればそれでいいのではと思っている。しかし、「当分の間」という解釈がいつまで続くかについては早い時期に結論をつける。

バレイシヨ疫病対策と 生産組織体制について



児島 薩男議員

必要があると思うが。

町長 防疫指導体制を整える。JA・商社を含めた組織体制を検討する。

答弁 町長 ①最初町

質問 ①今年1月〜2月の日照不足により早場地区で疫病が発生し、壊滅的な被害を受けたほ場があったが、

原因は高温・日照不足等で疫病が発生し、その防除等の初動的な対策が遅れたのではないか。その反省点について。

②一品目40億円の生産高のバレイシヨ作に専門職員の配置は考えられないか。

③長島町のバレイシヨは、JAと商社が販売・作付面積は約半々である。生産・品質管理・病害虫対策を県・町・JA・商社と連携した指導体制を組織化する

で確認した病気が疫病ではなく軟腐病ではないかとのことで予防体制をとった。

しかし、予防効果がないので、県に検体検査を依頼した結果、病名が茎疫病と判明した。その間対策が遅れた。初動対応は反省している。

②平成20年度に専門職員を採用している。今後期待に副えるようにしていきたい。

③町内にバレイシヨ業者がJAを含め六業者がいる。連携した生産組織は出来ていない。生産性の向上と同じ産地の作物を消費者が安全・安心で消費してい

ただくためにも商社を含めた生産組織体制を検討する。

石積み花壇の管理体制と相乗効果について

質問 ①長島一周フラ

ワロード36km中、花壇の延長が来年度完成すると10・7kmとのことであるが、町では景観づくりについて、町民の意識高揚を図りつつ、来年度開催予定の全国緑化フェアにむけ事業が進んでいるが、その後の花壇の管理体制と管理予算について

②町長の政策目標である夢と活力・観光資源の活用・石積み花壇を活用した観光客の集客など、相乗効果が期待できると思うが、具体的にどのような考えか。

町長 花壇のゾーン毎に管理者を認定。住民が癒され自慢できる花壇を期待

答弁 町長 ①現在整備中の石積み花壇の予

算は県の事業と国の交付金事業を組み合わせ実施し、町の財源は使っていない。整備後の管理は認定団体・ボランティアを募り多くの人に参加してもらう。花の苗は原則として認定団体または個人に調達してもらう。不足した分は町で準備する。花壇はゾーン毎に管理者に依頼し除草・水掛など管理をお願いする。国道法面等の管理は県が行なっていたが今年から町に管理権限委譲を受けたので花壇の法面等も町で行なう。花の苗・種子代等については、ふるさと納税が年間2〜3百万円ある。また、基金造成をしているのでこれらを活用したい。

②相乗効果については町民が癒され、誇りと自慢できる石積みの一

周街道づくりである。沿道がきれいになり景

観がよくなれば、空き缶ポイ捨て減少も期待できる。花壇管理を行うことで子どもたちの情操教育、高齢者や婦人グループでの会話の場づくり。町外観光客の人口交流の増、特産品の販売促進を期待している。



県道の石積み花壇

春バレイシヨ被害状況 (疫病)及び対策について



林 義明議員

減量、初発の症状発見と、広報も遅れた。今後は、発生予察を行い、早期の予防対策を充実できるように町技連会に依頼する。

質問 本年産の春バレイシヨは過去に例のない疫病の発生で、出荷皆無という畑も発生し、防除に苦勞した年であった。春バレイシヨ作付で早場地帯を主に発生した疫病の被害状況と、その防除の指導対策と対応はどうであったか。

答弁 町長 春バレイシヨは約650ヘクタール栽培され、4月上旬から中旬の早場地帯の出荷分が約170ヘクタール、本年産は霜害や長雨により早場地帯に疫病が早期から発生し、約30%の減収。全体的には12・3%

一億円前後になる。今後は予察を行いながら指導する。

新生活運動の今後の推進について

質問 長島町新生活運動推進協議会を設置し、協議の結果「新生活運動はあなたが主役です」というチラシと「お返しは辞退申し上げます」という、しおりを各戸に配布、後は個人の自

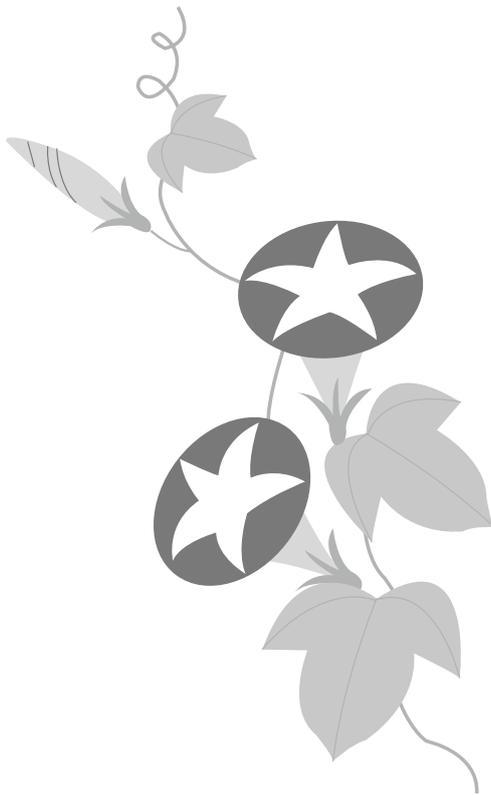
主性に期待することになるが、このままでは過去に推進されてきた新生活運動のように定着しないのでは、と思われるが今後の推進はどのように思つか。

答弁 教育長 現在、運動を展開中で「広報ながしま」で5月号から新生活運動についての周知徹底と、協力をいただくため連載を始

める。また、お返し辞退のしおりは、不足する方に配布できるように公民館長に配布してある。今後は、実際に運動を進めてみるとどうだったか、年内に公民館長を対象にアンケートをとる予定。そして来年一月をめどに協議会を開催し、見直すべきところがあるようであったら見直しを

行う。また女性の声を聴く101人の会等でも主旨の徹底をお願いする。

質問 町長の施政方針で、町職員が地域を応援する「地域担当制度」を具体化するとある中で、この制度で職員が集落民に再度説明すると思うが、新生活運動実践ポスターなるものを作成し、冠婚葬祭会場に張り協力を求める方法も考えられるか。
答弁 教育長 地域担当者との連携ができるのであれば、PRは一つの方法ではないか。ポスターが必要なのかどうかは検討する。



副町長の二人制の是非を問う



小川 武男議員

課の統廃合に問う

質問 来年3月の九州

新幹線の全線開通の他、長島を取り巻く高速交通体系の整備が進み、今後は観光を主とした町の発展も望める。そこで観光課を設置できないか。また、行政改革を推進するには、分掌事務の見直しを進める等、課の統廃合や機構改革が必要と思うが考えを伺う。

町長 早急に結論を出す

答弁 町長 行政改革

等を考慮し副町長は一人でも良いと認識している。しかし、まだまだ町の一体化が十分図られたと町民が認識できない時期に一人にするのに疑問もあるが、早急に結論を出す。

町長 住民の視点に立って統廃合を推進する

答弁 町長 合併後4

年間で職員数が大幅に減少していることや庁方式の庁舎利用形態から課の統廃合の必要性は認識している。庁舎の利用体系をどうするか。また、住民の二

人も高度化、多様化している。迅速かつ柔軟に対応するための効率で政策目標に的確に対応できる組織機構の構築が重要な課題である。

今後は1年かけて住民の視点に立って、利便性の確保、サービス低下をさせない組織機構の研究を行い、段階的に課の統廃合を進めて行く。

住宅不足の解消を急げ

質問 本町は慢性的な

住宅不足で、昨年21人が町営住宅入居の公募にもれている。若者等の定住促進を図る上にも、一日も早い住宅不足の解消が望まれる。(1) 県営住宅の建設促進 (2) 町所有の遊休地に民間資金を活用した住宅建設

ができないか伺う。

町長 PFI方式での建設促進を検討

答弁 町長 県では既

存の建替えや、改修に取り組んでおり、新たな県営住宅の建設は財政的に困難とのこと。また、導入は難しい。また、民間資金を活用した住宅建設として、PFI方式がある。国からの建設費補助が受けられ、遊休町有地等の払い下げを含め、建設促進を検討する。

長島高校跡地に統合中学校の建設は？

質問 少子化が進み児

童生徒が減少している。特に、中学校は複式学級、免許外教科担任、クラブ活動の問題等改善を急ぐ必要がある。

今後4年間で統廃合に向けある程度のめどをつける必要があるが町長の考えは。また、統合中学校の

建設地として旧長島高校跡地が最適と思うが考えを伺う。

町長 既存の学校を活用

答弁 町長 21年度実

施した住民説明会でも中学校の統廃合を急ぐべきとの意見が多数あり、十分に参考にしながら進めて行く。高校跡地は定住促進

に繋がる誘致活動を行なっており、既存の学校を活用したほうが無駄な投資が省けると考えている。

※PFI方式とは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のことです。



平成 21 年度に建設された川床公営団地

常任委員会審査報告

常任委員会は6月10日から開かれ、付託された議案等を審査しました。内容は次のとおりです。

総務民生常任委員会

委員長 磯永 秀生

▼総務課関係

問 課設置条例の一部を改正する条例で「事業推進課」を「景観推進課」に課名変更するとの事であるが、従来の業務としてあった入札は景観推進課で行うのか。

答 入札については、従来どおり業務を行う。また、長生園の管理職を廃止し、管理職でない職員対応で運営に支障はないのか。

問 プライダール推進する。

▼企画財政課関係

問 公民館チャレンジ事業の内容は。

答 特色ある集落づくりによる地域の活性化を図るため、各自治公民館の個性とアイデアあふれる経費に町が補助金を交付する事業である。

問 空き家改修の件数と補助金の額は。

▼税務課関係

問 昨年の災害等があるなかで、税の収納率が上昇しているが、収納対策指導員の影響があるか。

答 指導員の影響があり、強制徴収、差し押さえ等の指導を受けている。差押え件数は、18年度7件、19年度47件、20年度51件、21年度194件であり、全体的な収納率の向上が図られている。

問 生活保護者の受給額はいくらか。また、国庫の負担割合は。

▼保健衛生課関係

問 重点分野雇用創出事業の内容は。

答 本島地区、獅子島地区を重点に道路、河川、海岸等の不法投棄の解消のためハローワークに登録した作業員を雇うものである。

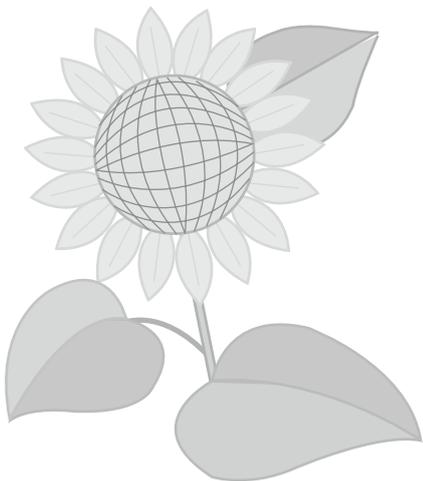
問 子宮頸がんワクチン接種補助金で接種率を30%見込んでいるが、見込みが低いのではないか。

◎委員会の意見

(1) サンセットながしまの設備修繕及び建物の補修工事については、築37年を経過しているため、抜本的な補修工事の必要性が認められた。

(2) 子宮頸がんワクチン補助金について一部の市町村ではあるが100%補助している自治体もあると聞くので本町も100%補助を願いたいとの意見があった。

また、医療費等の現物支給にあたるものもあるため、一概にはいえないが、およそ6万円程度であり、負担額については国が4分の3、町の一般財源が4分の1である。



建設経済文教常任委員会

委員長 児島 薩男

▼農林課関係

問 現長島町での口蹄疫対策について

答 現在、対策本部を設置している。町長へ報告して今後の対策について指示を受けたところである。今後の対策強化のため各農家の消毒を町とJA・農家の共同で出来ないか検討している。

問 イノシシ電気柵設置補助について、3人共同となっているが設置場所によっては1人でしか設置できないところもあるが、1人も補助対象にできないか。

答 交付要件については内容を検討させていただきたい。

問 認定農業者規模拡大交付金について、認

定農業者以外の農業者について交付出来ないか。

答 認定農業者として認定した農家に限り交付するものである。農地拡大の該当者がいれば認定農家の認定を受けるように指導願いたい。

▼事業推進課関係

問 現在、県が作成した緑化フェアのチラシの中に協賛会場である長島町が記載されていないが、今後作成されるパンフレットには長島町の協賛会場の案内は記載されるのか。

答 フェア開催時、県が作成するチラシには協賛会場として長島の情報も掲載される予定である。

▼水道課関係

問 し尿処理費で、建設的補助について具体的内容は。

答 旧長島町は、浄化槽から放流管9メートルまで補助対象としている。旧東町の個人設置型についても同様な補助を行なう必要があるため、そのための予算措置。

問 簡易水道区域の見直しが行なわれると汐見区域と田尻区域と統合の見直しがされることになるか。

答 田尻地区は現在、川床、山門野を含めた南部地区の給水区域である。平成29年度以降は本島内が全区域に統合される。しかし、田尻上がり浜方面へ送水している水量が充分でないため課題がある。

▼建設課関係

問 公営住宅を、昨年川床地区に建設したが、今回の場所はどこか。

答 昨年建設した住宅は1棟4戸建てを建設した。今年度は、更に1棟2戸を同じ場所に計画している。

問 緊急雇用の採用はどうなっているか。作業に慣れた人・前回採用していた者を優先に雇用することは出来ないのか。

答 緊急雇用は公募で考えている。雇用については、関係課との調整を図っていく。

▼耕地課関係

問 農地の深耕・造成の補助について、客土も補助の対象になるか。

答 今年度から補助金交付要綱を改正して客土も補助対象とした。

▼水産商工課関係

問 商工会補助金と活動内容について。

答 昨年の実績は、夏祭り花火大会で100万円、芸能ショー50万円が主で昨

年は、小浜海浜センターのこけら落としを兼ねて実施した。入場者が約1000人を超えた。

▼教育総務課関係

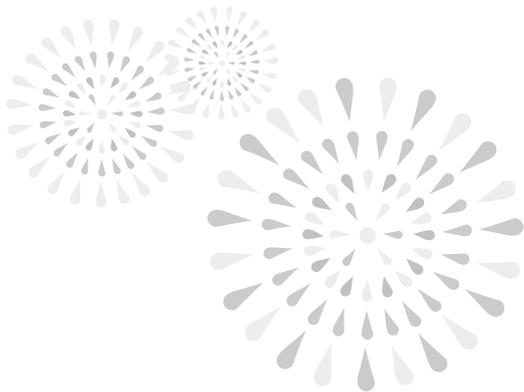
問 獅子島地区学校統合推進協議会の委員は何人か。開催回数はいくら予定しているか。

答 委員は12名と考えている。開催回数は3回予定している。

▼社会教育課関係

問 一家一花運動はどのように実施していくのか。

答 一家一花運動は町が推進している一周フラワーロードと関連し、町民に花づくりの機運を高めようと、運動として実施しようとするものである。今後どのように進めるかは意見を聞きながら進める。種子の配布、チラシ作成などで啓発していきたい。



平成22年度 第3回臨時会

平成22年7月6日、
第3回長島町議会臨時
会が1日間の会期で開
かれた。

今日の臨時会では、

「長島町副町長の定数
を定める条例の一部を
改正する条例につい
て」現在の副町長の定
数を2人から1人とす
るため提案され、町長
の提案理由説明後、採
決の結果、原案のお
り可決された。

その後、「副町長の
選任について」が追加
提案され、石塚政廣氏
を副町長とすることに
同意した。

長島町城川内2640
番地

石塚 政廣

昭和24年8月20日生



町議会では、6月に
八代海で発生した赤
潮(シヤトネラ・アン
ティールカ)で、多大な
被害のあった町内の養
殖漁場の状況を、漁協
職員、町担当課職員の

説明を受け、ほぼ全域
に亘り調査を実施し
た。
2年連続の赤潮の発
生であり、議会として
の今後の対応等が慎重
に協議された。

議会 で 現 地 調 査



まちの話題



交通安全キャンペーン ジャガイモ作戦



学校の電子黒板による研究授業

議会のつぎ

| | | | |
|------|------------------|-----|--------------------------|
| 20日 | 例月出納検査 | 20日 | 長島町商工会第4回通常総会 |
| 23日 | 全員協議会 | 21日 | 例月出納検査 |
| 25日 | 獅子島招魂祭 | 22日 | 関西かごしまファンデー |
| 28日 | 臨時議会 | 23日 | 大阪京セラドーム |
| (5月) | | 24日 | 建設経済文教常任委員会研修会 |
| 1日 | 水保病犠牲者慰霊式(水保市) | 26日 | JAいずみ農協第18回通常総会 |
| 9日 | 長島町消防団入退団式 | 26日 | 全国離島議長会(島根県) |
| 10日 | さつま町・湧水町議長来町 | 31日 | 議会運営委員会新人議員研修会 |
| 12日 | 県議長会理事会(鹿児島市) | 2日 | 北薩摩観光連絡協議会総会(阿久根市) |
| 13日 | 県町村議長会臨時総会(鹿児島市) | 3日 | 南九州西回り自動車道建設促進期成会総会(出水市) |
| 13日 | 13日 | 3日 | 南九州西回り自動車道建設促進期成会総会(出水市) |
| 17日 | 北薩広域行政事務組合臨時総会 | 4日 | 6月定例議会(16日まで) |
| 18日 | 阿久根地区消防組合議会 | | |

編集後記

宮崎での口蹄疫、そして八代海域での赤潮と大変な被害の中、改選後初の第2回長島町議会定例会が6月4日から16日まで13日間と、7月6日に第3回の臨時会が開催され、町全体の事、あるいは地域の問題点等9名の議員が質問にたちました。充分ご理解出来にくい点多々あると思いますが解りにくい所は議会事務局や議員におたずね下さい。今後におきましても議会傍聴等ともしご参加いただき、議会の活性化はもとより町発展の為に御指導御協力をこのころからお願い申し上げます。

(池田)

- 【編集責任者】 濱上 實 則
- 【編集委員長】 池田 廣
- 【委員】 植元 敏 光
- 下塩見 浩
- 原口 秀 昭
- 福永 伸 親